

令和 7 年度 第 2 回旭川市博物館協議会議事録

日時：令和7年12月18日(木) 午後6時から午後7時40分まで

場 所：旭川市博物館 郷土学習室

出席委員：辻並会長、奥寺副会長、佐藤委員、古川委員、石田委員、
坪坂委員、大友委員、白川部委員（以上 8名）

会議の公開・非公開の別：公開

傍聴者の数：なし

(次 第)

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1)令和 7 年度上半期事業実績について

(2)令和 8 年度事業方針(案)について

(3)使用料(博物館観覧料、茶室使用料)の改定(案)について

(4)その他

4 閉会

議事内容(要約)

(1) 令和7年度上半期事業実績について

事務局	資料に基づき説明
会長	意見や質問はあるか。
委員	(意見、質問なし)
会長	無いようなので、次の議題に移る。

(2) 令和8年度事業方針(案)について

事務局	資料に基づき説明
会長	意見や質問はあるか。
会長	博物館リニューアルに向けた事前調査の項目について、関連施設等で行うとあるが、どのようなところを想定しているのか。
事務局	<p>市内であれば、北鎮記念館や兵村記念館など。これは、特に近現代の資料について、それぞれの館の役割分担を踏まえて、検討していかなければならないと考えているためである。また、国立アイヌ民族博物館、ウポポイといったアイヌ関連施設についても、調査を考えている。</p> <p>なお、現在、アイヌ関係のことを専門に学んできた職員がいないため、アイヌ専門の研究者などのアドバイザーが必要だと考えている。そういう人材を探すということも必要なことだと考えている。</p>
委員	資料収集・保管の項目について、デジタルアーカイブ化として、どのようなことを実施するのか。また、VHS のビデオテープはいずれ見られなくなるという話を聞いたが、デジタル化することは考えているのか。
事務局	<p>博物館の資料をデジタルカメラで撮影し、WEB 上に公開することを考えている。そのことによって、だれでも博物館資料の画像を見られるようにし、そのことで、学校の学習への利用促進や、専門家の研究が進む可能性もある。</p> <p>また、ビデオテープ(VHS)のデジタル化は考えていなかったが、本館で保存するべきデータについては、今後検討したい。</p>
委員	書籍のデジタル化は考えているのか。
事務局	書籍については写真を撮るなどのことは考えていない。なお、博物館所有の書籍は、すでに、著者や書籍名などのリストは整備されているが、一般の方に貸し出し等は行わないこととしている。
事務局	資料数が膨大なので、必要なものから精査して取り組んでいく予定である。
委員	博物館のリニューアルについて、3年間という期間を示されていたが、スケジュールの目安などはあるのか。
事務局	まず、外部のアドバイザーとして、必要な専門家を見つける等の土台づくりに時間がかかると考えている。現段階では見通しの立たないこともあり、大まかな想定ではあるが、令和8年度に、専門家の方を見つけアドバイスを頂いて方

	向性が決められれば、令和9年度に具体的な展示構成などを作成し、令和10年度には実際に業者が入って施工作業をすることができると考えている。
委員	展示の変更となると、展示室の閉鎖も一定期間生じるのか。
事務局	そのように考えている。
会長	ほかに意見や質問はあるか
	(意見、質問なし)
会長	無いようなので、次の議題に移る。

(3) 使用料(博物館観覧料、茶室使用料)の改定(案)について

事務局	資料に基づき説明
会長	意見や質問はあるか。
委員	値上げは致し方ないと考えるし、理解できる。 ただ、一つの意見として聞いてもらいたいのだが、経営上の問題はあるかもしれないが、旭山動物園のように、市民の 70 歳以上が無料になると、来館者数も増えるのではないだろうか。
事務局	減免というのは政策的な判断も絡むことではあるが、どういったバランスがよいのかということは、考えていきたい。
委員	周りの人からの話を聞いていると、博物館の周知は高くないと感じるが、インターネットなどの展示の評価は高い。大人への周知が今後重要だと思う。個人的な意見ではあるが、動物園と博物館のセットや、インバウンドの方も増えているので、カムイスキーリンクスと博物館、また、北鎮記念館と博物館など、いろいろな組み合わせがあると来館者の幅も広がり、来館者増や経営の安定化にもつながるのではないか。
事務局	動物園が博物館登録されたこともあり、いろいろ模索していきたい。
会長	経済部の旭山動物園と社会教育部の博物館のセットというのは、所管部局が違うということで、影響があつたりするのだろうか。
事務局	現状、社会教育部の科学館と動物園の共通券があるので、そこに障壁はあまりないと思われる。ただ、入館券の種類があまりにも多く、オペレーションが煩雑になるなどの問題はあると思われる。なお、動物園の方もコンテンツとして、アイヌ文化との関連を考えていることもあり、連携については模索していきたい。
委員	博物館という行先を周知するという点で、例えば JAF カードの特典などに盛り込まれることも有効だと思われる。 観光客の目線と市民の目線は異なるが、自分の子どもは、博物館の展示はいつも行っても変わらないと言っている。逆に言えば、それだけ博物館に足を運んでいるということであるのだが、リニューアルで新しいものが入ることは非常に楽しみである。お金を多く払っても、来てよかったですと思えるものになるとよいと

	思う。
事務局	なかなか頻繁に常設展示を変えるのは難しいため、企画展などで、所蔵資料をお見せするなどしているところである。また、料金改定とリニューアルは、時期も異なり、別の話となるのだが、ぜひ良いものになるよう努力していきたい。
委員	特別展示を充実させて、例えば、北鎮記念館や兵村記念館とタイアップして、展示をバラエティに富ませるというやり方もある。
委員	以前に、ウポポイに行ったときに、ゴールデンカムイとタイアップした展示を行っていた。著作権など大変なこともあると思うが、漫画やアニメのキャラクターなどの要素も入れてもいいかもしれない。
委員	議題の要旨からは外れるが、どうして博物館で茶室を管理しているのか。
事務局	茶室は、昭和25年の「北海道開発大博覧会」の折、旭川出身の著名な数寄屋大工 岡田永斎の手によって、市立図書館の附属茶室として建てられたもので、常磐公園から旭川郷土博物館の隣に移築され、平成5年に博物館が神楽に移転するに伴い大雪クリスタルホールの敷地内に移築された。資料ではあるが、使って頂けるものとして管理している。
委員	知らない人も多いのではないか。
事務局	ホームページで紹介しているが、茶道をする人も限られているので、市内で茶道をする人には一定程度知られていると思う。
会長	ほかに意見や質問はあるか
	(意見、質問なし)
会長	ここまで、3つの案件について議事を進めてきたが、あらためて確認の必要な事項等があれば発言願う。
	(意見、質問なし)
会長	無いようなので、議題の(1)～(3)まで、委員の了承を得たということで次に進める。
会長	その他ということで、何か議題案件を持っていれば発言を願う。
	(意見、質問なし)
会長	無いようなので、これで議事を終了する。